

九州・沖縄フォーラムIN鹿児島

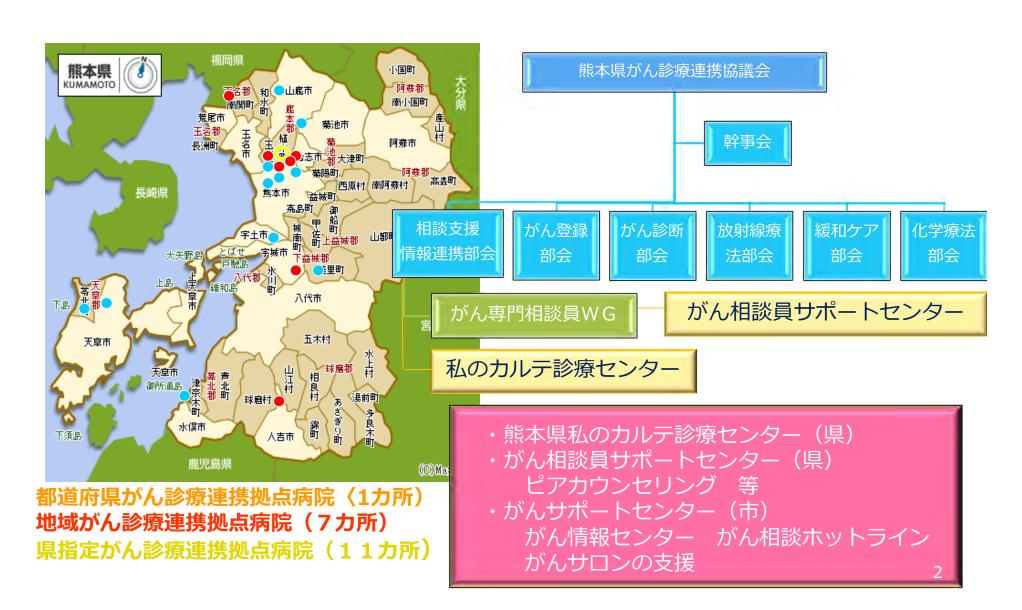
平成27年11月28日(土)

がん相談支援センターのステップアップ ~周知と共働を目指して~

熊本赤十字病院 増田真由美 熊本大学附属病院 上井 真理 熊本県健康づくり推進課 藤本真之介



熊本県の拠点病院とがん診療連携協議会組織図



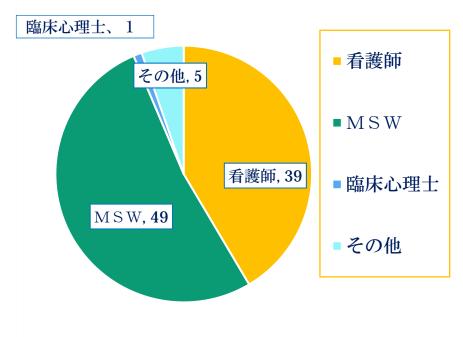
熊本県の相談員の現状

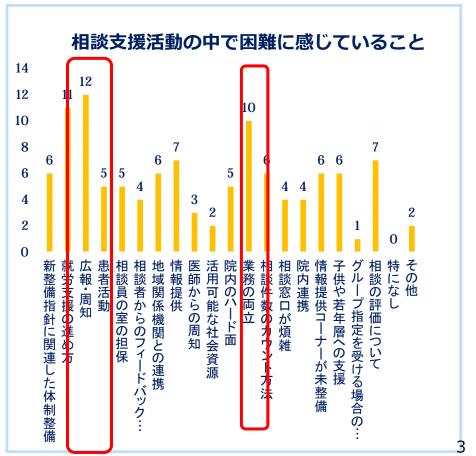
熊本県の相談員は94人。

相談支援活動の中で困難に感じていることは、

①広報・周知、②就労支援の進め方、③業務の両立という結果でした。







がん相談員WGとがん相談員サポートセンタ

がん相談員サポートセンター(平成27年6月)

がん相談員WGの活動をがん相談員サポートセンター が支援。3つの取組みを推進中。

- ◎ 県内のがん相談員の資質向上(研修企画・運営G、情闘子fr成G) がん相談員研修会の実施(年2回:テーマ:就労支援) がん相談員の連携体制の構築、情報共有及び情報提供
- ◎がん相談支援センターの普及啓発活動 県内統一ポスター、チラシ、カードの作成、県立図書館 d e がん相談 がん相談に関するアンケート調査(現状把握)
- ◎がんピアサポート活動との連携

がん経験者による「おしゃべり相談室」の実施(3ヶ所) がんピアサポートセミナーの実施 県内のがんサロン、がんサロンネットワーク熊本の事務局支援

熊大病院内に設置(体制:事業推進員1名・事務職員1名) 平成27年度 がん相談機能向上事業(熊本県委託事業)11,989千円





平成27年6月5日(金)熊本日日新聞

が 相談員の活動支援

これまでのがん専門相談員研修会

日時	研修内容	対象参加者・人数
H24.6.2	がん相談のプロセスを学ぶ	がん診療連携拠点病院の がん相談実務者 48名
H25.6.1	がん相談支援のプロセスを通して相談員の役割を学ぶ	がん診療連携拠点病院の がん相談実務者 25名
H25.11.16	がん対策アクションプランに基づくがん相談支援 センターの役割 がん相談ホットラインにおける相談支援の現状	がん診療連携拠点病院の がん相談実務者 29名
H26.6.7	がん対策アクションプランを基にしたがん相談支援 センターの役割と熊本県内の相談員の現状と課題 がんサバイバーからの視点での相談の現状	がん相談に携わる実務者 61名
H26.11.22	国が求めているがん相談支援センターの役割再確認 相談員としてのスキルアップ	がん診療連携拠点病院の がん相談実務者 27名
H27. 7.18	がん相談支援センターの概要・役割の理解 がん患者の就労に関するニーズ・課題の共有と相談員のあ り方を学ぶ。	がん相談にかかわる実務 者(二次医療圏含む) 74名
H27.11.14	がん患者に対する就労支援の現実を知り、治療と生活の両 立において生じる問題や課題を知る事、就労支援に必要な 資源を学ぶ。	がん診療連携拠点病院の がん相談実務者 5

県内のがん相談員の資質向上

~平成27年度がん相談員研修会:就労支援~

平成27年度は、がん患者の就労支援をテーマとした研修会を開催。今年度から、 対象者を年1回を2次医療圏の相談員、年1回を拠点病院の相談員として定例化。

平成27年7月18日(土)第1回研修会

時間:10時30分~15時30分 場所:ウェルパル熊本対象者:2次医療圏のがん相談員 参加人数:74人内容:講義10分、30分×2本、アイスブレイク10分、

グループワーク(就労支援)70分、全体共有60分

がん患者として伝えたいこと〜体験談と患者会活動について〜 (NPO法人がんサポートかごしま 三好 綾先生) 等

第1回研修会の様子



平成27年11月14日(土)第2回研修会

時間:10時~15時30分 場所:熊大病院 山崎記念館

対象者:がん専門相談員 参加人数: 人

内容:講義30分、60分、アイスブレイク10分、

グループワーク(就労支援)50分、

多職種シンポジウムによる全体共有60分

がん相談員としての就労支援の取組み(聖路加国際病院 橋本久美子先生) 他県がん専門相談員の座長、ファシリテーターによる情報共有、

医師、社労士、労働局職員、相談員を交えたシンポジウム形式の全体討議



第2回研修会の様子

相談員として就労の問題に対して、どのようにアプローチすればよいのかグループワークを通して 大変勉強になりました。職種間での様々な意見が聞けて参考になりましたなどの感想を頂きました。6

がん相談支援センターの普及啓発活動

がん相談員WGで リレーフォーライフに参加

日時:平成27年5月16日·17日 場所:白川公園(熊本市)

内容:がん相談支援ブールの設置

ミニ講演:がん相談支援センターについて(南委員)





県内共通のポスターの作成



県内の国指定及び県指定のがん診療連携拠点病院が、がん相談支援センターの統一ポスターを掲示して一堂に周知活動に取り組む企画を進行中。現在改訂版3案を作成中。

平成28年1月頃完成予定

熊本県版がん情報冊子の作成

熊本の患者さんが、がんを理解し将来の展望をもって治療に臨んでいただく ための一助となるような、療養上の 様々な情報をまとめた

『熊本県版がん情報冊子』を作成中。



平成28年3月発刊予定 熊本県がん診療連携協議会 がん相談員ワーキンググループ編

熊本県のPDCAサイクルの現状

平成26年9月、「PDCA体制に関する検討会」を設置(指定更新事務担当者中心) ※共通項目にがん相談に関する2項目が設定され、試行的に相互評価を実施。 平成27年7月、熊本県がん診療連携協議会で相互評価結果を共有。評価方法を含めた評価体制の確立を目的としたWGの設置方針を決定した。

- 1. がんの医療提供体制整備のための計画立案
- ◆目標と評価指標の設定 <H26実施国指定8病院>
 - ・第2次熊本県がん対策推進計画及び がん対策アクションプラン
 - ・現況報告データ(指定要件)
- ※診療機能・診療実績等に関して、 <u>共通評価項目</u>に基づいた自施設の 目標・指標の設定

Plan

Action

- 2. がん医療提供体制の整備・計画の実施
- ◆実施項目は書面で提出
 - ・各拠点病院で計画した項目について実施。

Do

<関連する共通項目> がん相談支援に携わる人材の育成及び連携の推進

がん相談支援センターの認知度の向上

4. 評価に基づく改善

- ◆計画の継続、変更についての検討
- ◆熊本県がん診療連携協議会への報告
 - ・関係者間での情報共有

<評価WGの設置へ>

H26年度は事務方で実施。H27の評価からは医師を 含めた実務者WGを設置して実施する。

Check

- 3. 計画の達成状況の評価・確認
- ◆拠点病院 2 病院間での相互評価 8病院を2組ずつ4つの評価グループ に分けて共通評価項目の達成状況を評価
- ・相互評価後の自施設の評価結果の確認

Q

熊本県がん相談支援センターのPDCAサイクルの現状 がん相談支援センターの認知度の向上の相互評価結果一覧(例示)

	目標•計画(P)	活動·取組(D)	検証方法・結果(C)	改善点等(A)	自施記	没評価	評価ポイント	他施言	設評価
熊本大学医学部 附属病院	がん相談支援センターの活動 を院内に広く周知する	がん相談支援センターの活動を広く周知するため、ボスターを作成・掲示するとともに、各診療科の外来に国立がん研究センターが作成した「がん相談支援センター」の名刺サイズのカードを設置し、診療科の医師から患者へ配布してもらう等のがん相談支援センターの活動を周知する。	がん相談支援センターのポスターを作成 した上で、外来診療棟や各病棟にポス ターを掲示、名刺サイズのカードを各外 来に設置した。また、本学の広報誌「熊 大通信」の熊本大学病院特集記事にお いて「がん相談支援センター」を取り上 げ、周知を図った。	熊本県がん専門相談員	Α	1	名刺サイズのカードを配 布している点など工夫さ れて良いと思います。	Α	1
熊本医療センター	院内・院外での周知度をあげる。	院内掲示及びホームページへの掲載。	1階フロア、図書コーナーに掲示、ホームページへの掲載、がんサロンにて案内をしている。	病棟にも掲示する。	Α	1	院内・院外における周 知・広報の取り組み状況	Α	1
熊本市民病院	相談支援センターの院内外へ の周知・広報	院内: 医師・看護師から紹介カードを渡してもらう。 広報誌の活用により業務内容の周知院内に熊本県共通のポスターを使用。 院内教育の場面で相談支援センターの役割・業務を周知。	紹介カードの使用状況チェック、患者さん ねら相談経緯の確認	活動や取り組みを行ってきたが、次年度からは紹介カードの使用状況チェック、患者さんから相談経緯の確認を行っていく。	Α	1	紹介カードの使用。	Α	1
荒尾市民病院	相談支援センターの院内外へ の周知・広報活動を更に積極 的に行い、認知度の向上を図 る。	年4回開催の熊本県がん診療連携協議会に参加し、相談支援に関する活動の周知に取り組む。	を掲示し、がんについて相談を受けられる旨を示した	上記の活動を行ってきたが、平成27年度は紹介カードを使用しての周知や、がん相談支援センターでパンフレット等を置き、情報コーナーの充実を行っていく。		1	活動・取組の内容は分かりましたが、具体的な認知度の向上結果についての検証方法・結果の記載が不十分なため、評価ができません。	В	0
	がん相談支援センターを院内 外へ周知し、患者及び家族へ の認知度の向上を図る	・がん相談支援センター案内カードをがん患者用パンフレットに添付して配布する ・院内情報表示システムで周知を行う	相談件数を比較した 平成24年6月~7月:57件、平成25年10 月~11月:151件、平成26年6月~7月: 186件	・継続して相談件数の比較を行う ・病院ホームページでわかりやすく院外に 周知していく	S	3	相談件数が増加している	S	3
熊本労災病院	がん相談支援センターを院内 外に周知し認知度の向上を図 る	病院ホームページへの掲載及び院内へパン フレットの設置等を行う	相談件数 平成25年度:1,279件、平成 26年度:1,448件	継続して相談件数の比較を行う	S	3	目標達成出来ている	S	3
済生会熊本病院	院内の見やすい場所に相談 支援センターによる相談支援 を受けられる旨の掲示をする。	外来情報表示モニタへ広報コンテンツを作成 し掲載する。	検証方法:デジタルサイネージ業者への 番組作成を依頼する。 結果:がん相談支援センターの情報番組 を作成し、放映を開始した。	認知度向上のため、今後は院外広報(HP 等)も検討する。	Α	1	外来情報表示モニタ、情 報番組放映などの取り組 みにて目標達成してい る。	Α	1
人吉医療センター	①院内外での周知を図る ②院内での認知度アップ	①院内外を対象とした研修会などで「がん相談支援センター」に関する発表を行う。②外来などに「がん相談支援センター案内」のカードを配り、医師に使用してもらう。	ライフなどで「がん相談支援センター」に つき発表を行い広報した。また、自施設	①研修会での発表にてアンケートを行う必要がある②「がん相談支援センター案内」のカード使用数の把握や患者対象に認知度のアンケートを行う必要がある。	A	1	目標達成	Α	1

熊本県が主導するがん相談関連の取組み

熊本県がん患者支援向上対策会議 (就労支援対策)

平成27年8月10日(月)、10月19日(月)

就労支援に関する関係機関・団体の委員をメンバーとする標記会議を設置し、就労支援に係る現在の課題、 状況を取りまとめ、具体的な対策及び方向性について 意見交換を行った。11月下旬に提言書(短期、中長 期、実施の可否を含めた対策)が取りまとめられる予 定。

くがん患者	支援対策検討会議	(就労支援)	委員>
69 75	VE A		

氏 名	所属	
和 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	熊本学園大学 社会福祉学部社会福祉学科准教授	
安達 美樹	熊本大学医学部附属病院 がん相談支援センター副署護師長	
加島 裕士	版本県経営者協会専務理事	
500 + T a 長野 加寿美	熊本県社会保険労務士会社労士	
福山 幹也	熊本労働局職業対策課課長補佐	
まつき ようこ 松田 陽子	がんサロンネットワーク熊本理事	
吉田 稔	熊本県がん診療連携協議会 相談支援・情報連携部会 (熊本赤十字病院血液・腫瘍内科部長)	
	をはます。 されまり 相等 続代 を注意 美樹 かしま ひろし 加島 裕士 を新 加寿美 か(でま みきの 福山 幹也 おつと よろこ 松田 隆子	

(五十音順) (表中 敬称略)

現状把握のため、がん相談員向け(平成27年5,6月)、企業・団体向けアンケート(平成27年7,8月)を実施。

県立図書館 d e がん相談 ~"がん"について知ろう!~ 平成27年10月3日(土)~、10月31日(土)

多くの方に"がん"を知ってもらうこと、がんになったらがん相談支援センター等の相談窓口があることを知ってもらうことを目的に、県民に身近な県立図書館で開催。

←昨年度長崎県の発表を参考に実施したもの。

がん関連図書コーナー 10月3日~31日

- ●がん関連の蔵書コーナー設置
- ●患者の声パネルの掲示

県立図書館deがん相談

- ●図書館deがん相談+ミニ講演 (10月3日、10月24日)
- 講演
- ●図書館deがんサロン+ミニ講演(10月10日)
- ●図書館deおしゃべり相談室+ミニ講演(10月 31日)※ いずれも時間は13:30~15:00で実施

周知不足等で講演会の参加者が少なかったが、 企画展示を見に来た山鹿市立図書館から同企画 開催の打診あり。→来年2月に実施予定。 10



ご清聴ありがとうございました。



作:熊本赤十字病院 がん相談支援センター 村上画伯